

事例8-1

取組名	広報仕分け・配布作業お手伝い事業		
町会名	両下町町会（安原地区） りょうしたまち	町会 データ	・人口／168人 ・世帯数／96世帯 ・高齢化率／36.9% ・町会加入数／104世帯 ・常会数／なし ・隣組数／7組
取組概要	・町会役員が行っていた広報の仕分け等について、各隣組から募集したボランティアにお手伝いいただく。 ・併せて、地域コミュニティの活性化を図るため、お手伝い終了後に茶話会を開催する。		

背景・課題

- ・本町会は町内公民館を所有していないことから、毎月、役員が前町会長宅等に集合して、広報の仕分けをはじめ、7つある隣組長と5つの集合住宅へ配布を行っていた。
- ・上記の一連の作業は年12回以上行う必要があり、また、それ相応の時間も掛かるため、役員に業務が集中することで負担感が増していた。
- ・町会の役員候補者が減少傾向にある中で、この一連の作業の見直しが喫緊の課題となっていた。

経過・取組内容

- ・7つある隣組からお手伝いに従事してくれるボランティアを募集した。
- ・応募のあったボランティアの皆さんの中から毎月4名を輪番で振り分け、前町会長宅等へ集合し、お手伝いを行っていただいている。（町内公民館を所有していないため。）
- ・今まで役員が行っていた広報の仕分け作業や差込み作業、回覧の仕分け等を行い、各隣組長と集合住宅へ配布していただく。
- ・お手伝い終了後は茶話会を開催し、ボランティア同志のコミュニケーションを図っている。
- ・作業場となる前町会長宅等の借上げや、仕分け等に使用するかごや袋などの備品・消耗品、ボランティアの皆さんの保険、茶話会用の茶菓子は町会が用意している。

成果・今後の展望等

- ・少ない役員で行っていた毎月の仕分け等作業を地域のボランティアの皆さんにお手伝いいただくことで、役員の負担軽減が図られた。
- ・町会の役員候補者がなかなか見つからない状況の中で、「働きながらでもできる町会役員」を実現するため、町会の皆さんの公平性・分担等を考慮しながら実施している。
- ・これからも各隣組からお手伝い可能な皆さんを募集するとともに、今までに町会活動に参加したことのない方々にもお声がけしている。
- ・今後は、他の作業や活動にもお手伝いいただくことを視野に入れ、人のつながりの強い、健康で住みやすいまちづくりを推進していく。



（仕分け作業中のボランティアの皆さん）

【ポイント】

- ▼ デジタル時代にアナログ的な要素を取り入れて町会役員の負担軽減と地域コミュニティの活性化を図る。